

## 工科系大学としての限りなき挑戦

### 開学50周年に向けて

本学は、2026年10月1日で開学50周年を迎えます。これを記念して、式典や講演会の実施、50年史の発行のほか、学生支援や産学連携等に関する事業の実施を予定しています。特に、学生の活動施設の充実、就学・生活支援、留学支援、地域と結びつけた共創キャンパスの構築、自治体・産業界と本学が共同出資・共同活用できるオープンラボラトリーの構築などを計画しております。

本記念事業の実施に向けて、「開学50周年記念事業募金」の受付を開始しました。皆様からの温かいご支援・ご援助を賜りますようお願い申し上げます。

### 工科系大学としての限りなき挑戦

現在、我が国は産業界、学術界において、国際的地位が急速に低下してきています。少子高齢社会に突入し、労働力低下などの深刻な問題が懸念されるとともに、データサイエンス・AI、カーボンニュートラルなどの研究分野で苦境に立たされています。また、コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻に始まった世界情勢の不安定化、エネルギー問題、物価高騰など時代が急速に変化しています。これからの時代は、この急速な変化に対応するために、新しい分野の勉強が随時できる環境が必要であり、大学には、地域の特色を活かした研究・教育拠点としての役割が求められています。

かかる趨勢の下、本学のフラグシップである、半導体・センサ研究では、半導体を材料からチップまで、設計、試作、製造、評価ができる施設を有しており、また、イオンイメージセンサやマルチモーダルセンサなど、センサ・デバイス研究では、世界トップクラスの評価を得ております。さらに、大学らしい自由な風土の下で、基礎から応用まで裾野の広い研究・教育を展開していますが、様々な専門分野との異分野融合により、実用化、実装

化まで産業界と協働して取り組むことをコア・コンピタンスとしています。

激動の時代、大学はどこも苦しい環境に置かれていますが、今後は教職員、学生全員が安心して教育・研究活動に専念でき、落ち着いて学修に励めるよう経営を一層安定化させ、不易流行の精神で世界トップクラスの工科系大学を目指して、限りなき挑戦をしてみたいです。

### ステークホルダーの皆様へ

本学は、「THE世界大学ランキング2024」で、本学IR本部の分析によれば、国内順位が昨年度の52位から34位にランクアップいたしました。上位には、旧帝国大学や総合大学、病院を持つ医科系大学が占める中で、本学は小規模工科系大学ながら健闘していると言えます。民間企業との共同研究も活発で、教員1人当たりの民間企業との共同研究費受入額が、2020年度全国1位になりました。それ以後も全国5位以内を維持しており、研究力に優れた研究大学です。一方、基礎と応用を繰り返す「らせん型教育」や、開学以来、学部4年次の1～2月に、必修科目として「実務訓練(企業内実習)」を行っており、産業界からの教育面の評価も高く、日経HR「採用を増やしたい大学ランキング」で2023年度全国1位\*になりました。学生の課外活動も活発で、ロボコン同好会が2023年度「NHK学生ロボコン」で大会2連覇を達成し、さらに「ABUロボコン」では、悲願の世界一を成し遂げました。このほか、吹奏楽団、JAZZ研究会、おちゃのかいなどが地元地域で積極的な活動を展開しており、地域の皆様から喜んでいただいております。

本学教職員、学生・保護者、同窓会、地域、自治体、産業界の皆様からのご支援・ご指導を今後とも何卒よろしく願っています。

\*出典：日経HR『日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学2023-2024 就職力ランキング』



学 長  
寺嶋 一彦

出身地／京都府京都市  
専門分野／システム制御工学、ロボット工学  
略歴／1982年 京都大学大学院博士課程修了。  
工学博士

1994年4月 豊橋技術科学大学 教授  
2012年4月 同 副学長（～2018年3月）  
2018年4月 同 理事・副学長（～2020年3月）  
2020年4月 同 学長